

学生の皆さんへ

大学生に対し、投資活動の勧誘（マルチ商法）が横行しています。

典型的な事例

1. 「儲かる話があるよ。」

クラスやサークルの友人、他大学の友人（高校以前の同級生やバイト仲間）などから声をかけられる。為替取引への投資で簡単に儲けられるという。

2. 投資の成功者を名乗る人物が登場

友人に勧められ、自称カリスマ投資家に来てカフェ等で話を聞く。

3. 50万円余のUSBメモリの購入を勧められる

長時間に渡り勧誘。絶対に儲かる、すぐに始めたほうがよいなどと言って、投資を指南するデータの買った資料の購入を強く勧められる。

4. 購入資金は学生ローン・サラ金で

買う金がないと言うと、借りればいいと学生ローンに連れていかれ、50万円借金をして購入する。

5. 儲からない

実際に投資をしてみるが儲からない。借金が返せない。

6. 他人を紹介するよう促される

友人を紹介し、購入に至れば、1件につき5～10万円のキックバックがあるとわれ、勧誘方法を指南される。

注意してください

○世の中に簡単に儲かる話などありません。

○勧誘、金融機関への同行など、長時間に渡りぴったり付いてこられます。年長者に相談する機会を与えず、根負けさせるためと考えられます。

○学生ローンやサラ金の金利は高く、最終的な返済金額は100万円を超えるようなことになりかねません。

○友人を勧誘すれば、人間関係にひびが入ったり、友人たちから警戒される存在になります。

○勧誘する側にはまるとそちらに時間とエネルギーを取られ、学業が疎かになります。

学内でこのような勧誘を受けた場合は、所属学部事務室・学生支援事務室・学生相談室に報告してください。

学生支援事務室